

令和〇〇年〇〇月〇〇日

長崎県知事 〇〇 〇〇 殿

〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号

〇〇〇組合

代表理事 〇〇 〇〇

定款変更認可申請書

中小企業団体組織に関する法律第5条の23第3項において準用する中小企業等協同組合法第51条第2項の規定により定款の変更の認可を受けたいので、下記の書類を添えて申請します。

記

- 1 変更の理由を記載した書面
- 2 変更しようとする箇所を記載した書面
- 3 変更の決議をした総会の議事録の謄本

以上

1. 変更理由

本組合は、令和〇〇年〇〇月設立以来、〇〇事業、〇〇事業及び〇〇事業に取り組んで参りました。

組合設立以来永年が経過し、現在の組合運営の実態と合致しないことから、現状に沿った改正を行うため、条文の文言を最新の定款参考例にならい変更するものである。

2. 定款中の変更しようとする箇所

新旧条文対照表

新条文	旧条文
第1章 ～ 第4章 (略)	第1章 ～ 第4章 (略)
第5章 役員、顧問 <u>及</u> ひ職員	第5章 役員、顧問 <u>および</u> 職員
(役員の定数等)	(役員の定数)
第25条 役員の定数は、次の <u>とおり</u> とする。	第25条 役員の定数は、次の <u>通り</u> とする。
(1) 理事 <u>6人以上8人以内</u>	(1) 理事 <u>4人又は5人</u>
(2) 監事 1人 <u>又は2人</u>	(2) 監事 1人
<u>2 第8条第2項各号の一に該当する者は、役員となることができない。</u>	2 (新設)

(注) 申請先（所管行政庁）は、適宜書き換える。

(注) 協業計画を変更する場合には、「3 変更後の協業計画書」「4 組合員のうち事業の全部若しくは一部を協業する旨を記載した書面」「5 変更後の事業計画書」「6 変更後の収支予算書」を追記し、以降、数字を繰り上げて適宜記載する。

(注) 原本を添付する場合には、「の謄本」を適宜削除する。

(注) 変更理由は、具体的かつ詳細に適宜記載する。

(注) 変更しようとする箇所は、対比できるように記載し、変更箇所の下に下線を引く。